

平成 29 年度 (平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日) 事業報告

一般社団法人に移行して第 4 年度に当る平成 29 年度は、日本・ボリビア両国間の交流を通じて、両国間の相互理解と友好親善協力の関係をより一層発展・進化させることを目指し、公益目的財産 (期首残高 240 千円＝26 年期首一般社団法人移行初年度継承資産・2,481 千円―26 年度消化 (474 千円)―27 年度消化 (736 千円)―28 年度消化 (1,031 千円)) の積極的活用を図りつつ、下記の事業を展開・推進した。その結果、内閣府へ届出済みの公益目的継承財産の消化を予定どおり当第 4 年度で全て完了する。

会員数については、94 名 (個人会員 86 名、法人維持会員 8 名、前年度末比較で 5 名増) (個人会員 5 名増、法人維持会員変わらず) (入会 13 名、退会 8 名) となった。

1. 当協会主催事業

(1) 毎年恒例となった X'Mas イベントを、12 月 1 日に、東京・日比谷・帝劇地下 2 階の神戸大学東京六甲クラブを会場として開催した。中南米文化についての評論家兼翻訳家であり、ボリビア映画の日本紹介者である現代企画社の太田昌国氏による「ボリビアの文化―映画・文学を中心として」と題する講演会に続き、牧野翔氏をリーダーとするグループ、エストゥディアンディーナ・ボリビアーナによるフォルクローレ音楽が演奏され、引続いて参加者全員による懇談・交流会を行った。会員・非会員合わせて 58 名の参加者があり盛況で参加者の方々に楽しんで頂いた。

(2) 初めての試みとして、2018 年 2 月 15 日に、上記の太田昌国氏を解説者とし、(1) と同じ東京六甲クラブで、ボリビア・ウカマウ集団制作の映画「第一の敵」を上映し、併せて解説者と参加者による座談会を行った。こちらも会員・非会員合わせて約 30 名の参加者があり、好評を頂いた。

なお、当年度の第 1 回理事会、及び定時総会を 2018 年 5 月 26 日に東京・内幸町・富国生命ビル 16 階の米州開発銀行会議室で開催した。また、総会の議決に基づき当協会の主たる事務所を港区から渋谷区への移転し登記を行った。

2. 共催・協賛・後援事業

(1) Bolivia Festival 2017: 8 月 1 3 日、在日ボリビア人グループが東京・隅田公園で開催。当協会は後援とともに出店し、当協会会長が来賓として開会式で挨拶した。

(2) 2017 年 7 月～9 月、島根県教育庁主催で開催された「石見銀山世界遺産登録 10 周年記念展」事業について、2015 年以来、現地視察等のための情報提供等の協力とともに名義後援を行った。7 月には椿常務理事が来賓として、出雲市、石見太田市で開催された記念展に参加した。

3. 会報 Cantuta 発行

29 号 (7 月)、30 号 (12 月)、31 号 (2018 年 3 月) と昨年度と同様に三回発行した。寄稿者として、ラテンアメリカ専門学者・研究者、在ボリビア研究者、現地派遣専門家 OB、現地駐在ビジネスマン OB、在日日系ボリビア人、その他当協会会員・役員を含むボリビア関係者など多様な方々にお願いした。なお、3 年ぶりに表紙のデザイン

を見直すこととし、公募して 30 号から新しい表紙となった。

4. 外部からの依頼や照会等へ対応した主要案件。

- *ロータリークラブでのボリビア概要紹介卓話（4月）、（朝霞市）
- *美容サロンソシエ・ワールド店頭モニター向けボリビア紹介コンテンツの監修（5-7月）（新宿区）
- *ボリビア特産植物マカの種子入手への協力（9月）（ラパス）
- *アルパカ衣料輸入に関心ある日本の企業からの照会に対し現地企業（日系人）に取次ぎ（9-10月）（ラパス）
- *在さいたま新都心で中古の車両・医療機材輸出会社の㈱TAUへボリビアの病院・医師を紹介（10月）、（ラパス、コチャバンバ、オキナワ、サンファン）
- *日本ラテンアメリカ学会でのボリビア関係図書の展示頒布（6月）（目黒区）
- *マスコミ・出版社・その他団体からの照会への情報提供多数

5. 協会活動に関連し、協会として、または会員が参加した主なイベント

- *日本ラテンアメリカ文化交流協会主催・アンデス写真家・高野潤氏遺作展（4月13日）（千代田区）
- *イベント企業キメラ・ゲームス主催のストリートエンターテイメントイベント（スポーツ・ゲーム・音楽など）（5月21-22日）（江東区）
- *ラテンアメリカ協会定時総会（6月18日）（千代田区）
- *川崎市主催国際交流祭（7月2日）（中原区）
- *駐日ボリビア大使館主催独立記念日パーティ（8月3日）（港区）
- *森の音楽祭（ボリビア派遣JOCV支援団体：Difar主催）（8月11日）（津市）
- *在日サンファン移住地帰国者主催「サンファンの集い」（9月16日）（八王子市）
- *専務理事がボリビアのラパス、コチャバンバ、サンタクルス、オキナワ、サンファン、を訪問し、日系協会連合会、各地日本人会、大使館、JICAの幹部と面談。現地の最近情勢についての情報を収集（9月24日 - 10月16日）
- *海外日系人大会、ボリビアから4名参加（10月23-25日）（永田町）
- *ボリビア元国連大使・パブロ・ソロン氏 Buen Vivir 講演会（10月26日）（永田町）
- *ラテンアメリカ婦人協会主催フェスティバル・ラティノアメリカノ（チャリティ・サール）（10月30日・港区）、
- *ボリビア・ケーナ奏者ロランド・エンシーンス・コンサート（11月19日）（北区）
- *ペルーとボリビア ラテン文化コンサート（12月8日）（目黒区）
- *宮良多鶴子クリスマスコンサート（12月17日）（横浜市）
- *在ボリビア日本人フォルクローレグループ・ワイラハポナンデス・コンサート（12月26日）（府中市）
- *駐日ボリビア大使館主催 アラシタ豊かさの祭り（1月24-31日）（千代田区）
- *川崎ボリビア料理教室（川崎市在住外国人有志主催）（1月28日）（幸区）
- *日本キヌア協会主催 キヌアの日（2月20日）（港区）
- *駐日ボリビア大使館主催「海の日（Día del Mar）」（3月23日）（港区） 以上

(平成30年(2018年)度第1回理事会・定時総会 議案1資料

一般社団法人 日本ポリビア協会

貸借対照表

平成29年4月1日-30年3月31日

資産の部		
現金		0
預金		2,528,504
資産合計		2,528,504

負債の部		
未払金		16,980
負債合計		16,980
正味財産の部		
正味財産		2,511,524
(内当期正味財産増減)		316
負債及び正味財産合計		2,528,504

一般社団法人 日本ポリビア協会 財産目録 (平成30年3月31日)

資産の部

現金		0
預金		2,528,504
三菱UFJ銀行	1,881,061	
ゆうちょ銀行	647,443	
資産合計		2,528,504

負債の部

未払金		16,980
負債合計		16,980
正味財産		2,511,524

一般社団法人 日本ポリビア協会 財産増減計算書

区分	期首残高	期末残高	増減
現金	18,024	0	△ 18,024
預金 三菱UFJ銀行	2,036,149	1,881,061	△ 155,088
ゆうちょ銀行	457,035	647,443	190,408
預金小計	2,493,184	2,528,504	35,320
合計	2,511,208	2,528,504	17,296

一般社団法人 日本ポリビア協会

平成29年度収支計算書

収入の部

科 目	29年度予算額	29年度決算額	増減額	決算額についての備考
会費収入	800,000	755,000	-45,000	
個人会員	200,000	255,000	55,000	61 個人会員
維持会員	600,000	500,000	-100,000	8 維持会員
交流参加費	200,000	163,500	-36,500	
雑収入	500	23	-477	預金利息
収入合計	1,000,500	918,523	-81,977	
前期繰越金	2,511,208	2,511,208	0	
収入の部合計	3,511,708	3,429,731	-81,977	

支出の部

科 目	29年度予算額	29年度決算額	増減額	決算額についての備考
1. 管理費				
事務経費	150,000	123,729	-26,271	
通信運搬費	50,000	16,269	-33,731	
交通費	50,000	0	-50,000	
消耗品費	40,000	28,100	-11,900	
雑費	10,000	79,360	69,360	
管理費合計	150,000	123,729	-26,271	
2. 事業費				
旅費交通費	80,000	74,040	-5,960	
通信運搬費	50,000	24,512	-25,488	
消耗品費	70,000	42,625	-27,375	
ホームページ維持管理費	100,000	27,108	-72,892	
支払負担金	70,000	65,000	-5,000	
交流会議費	600,000	384,029	-215,971	
カントウタ等発行費	100,000	167,802	67,802	
雑費	10,000	9,362	-638	
事業費合計	1,080,000	794,478	-285,522	
3. 予備費				
予備費	0	0	0	
4. 支援事業費				
援助費	0	0	0	
		0		
支出合計	1,230,000	918,207	-311,793	
次期繰越金	2,281,708	2,511,524	229,816	
支出の部合計	3,511,708	3,429,731	-81,977	

平成 29 年度監査報告書

一般社団法人日本ポリビア協会

会長 白川 光徳殿

私たち監事は、当協会の平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日までの平成 29 年度における理事の職務執行について監査を行いました。その結果を一般社団法人及び一般財団法人に関する法律 99 条第 1 項（一般社団法人及び一般財団法人に関する法律 197 条において準用する同法 99 条第 1 項）及び一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第 36 条及び第 45 条（一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第 64 条において準用する同規則第 36 条及び第 45 条）の規定に基づき本監査報告書を作成し、以下のとおり報告します。

1. 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事からその職務について報告を受け、重要な決裁書類を閲覧し、当協会の主たる事務所において業務及び財産の状況を調査しました。

上記の方法によって、当該年度に係る事業報告及びその附属明細書を監査しました。さらに、会計帳簿及びこれに関する資料の調査を行ない、当該年度に係る計算書類及びその附属明細書並びに財産目録等に付いて監査しました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当協会の状況を正しく示しているものと認めます。

(2) 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(3) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録などの監査

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録等は、当協会の財産及び損益の状況を全て重要な点において適正に表示しているものと認めます。

平成 30 年 5 月 7 日

監事

永井 和 

監事

千塚 早通 

平成 30 年度事業計画

(平成 30 年 4 月 1 日~平成 31 年 3 月 31 日)

- I 基本方針 日ボ間の相互理解・親善活動を積極的に行い、併せ会員の増加を目指す。
- 前年度に引続き、本年も会員各位や関係先からの協力も得つつ、日本とボリビア両国間の交流を促進し、相互理解と友好親善協力の関係を一層発展させることを目指して、役員と会員全員で努力を積み重ねて行く。
- 前年度末比較で 5 名増となった平成 30 年 3 月末の会員総数 94 名（個人会員 86 名、法人維持会員 8 名）を基に、本年度も積年の念願である 100 名の大会達成を目標とする。
- このため、前年度に引き続き、会員加入の「重点対象」として、従来からの企業・団体並びに女性・若者・シニア各層の個人に加えて、在日の日系ボリビア人等にも積極的に働き掛けることとする。
- 上記の基本方針に沿って、自主企画イベントを一層充実させるとともに、外部関係団体との連携活動を活発化させ、会報やホームページなどのソーシャルメディアを一段と整備して、交流活動を積極的に推進する。
- II 具体的事業活動
- ① 自主企画イベントの充実
- 参加者に「楽しい、面白い、ボリビアへ行ってみたい」と感じて貰えるようなエンターテインメント系イベントとして、従来のボリビア関係「音楽・ダンス・料理・食材」などを主とした協会主催イベントとを年 1-2 回開催すると共に、一般市民の方々が「ボリビアの文化・社会をもっと知る」ことができるように、ボリビアを含むアンデス関係の「映画・写真・絵画・文学・歴史・遺跡・料理・健康」などの文化ジャンルでのイベントを、ボリビアの関係団体・グループ・個人や、駐日ボリビア大使館の協力も得て、年 1~2 回開催することとし、その予算を計上する。
- また、自主企画イベントと連動したボリビア訪問旅行、文化・スポーツ活動などについて、旅行代理店や関係先ともタイアップして協力する。
- ② 会報 Cantuta の充実
- 発行回数を前年度と同じ年 3 回とするとともに、現地の政治・経済・社会・文化に関するホットなニュースをタイムリーに掲載し、さらにボリビア人・日系ボリビア人によるスペイン語記事も掲載して、紙面内容の充実を図るために、担当役員や事務局の強化を図ることとしその予算を計上する。
- ③ ホームページ (HP) などの充実
- 更新頻度の少なくとも月 1 回への引き上げを目指し、業者委託部分と協会内部での内部作業部分を明確に区分したうえで、担当役員と事務局の強化を図る。
- また、会員・非会員を合わせて外部からのボリビアに関する情報収集のニーズに幅広く応え、同時に協会側からも情報発信を一層タイムリーに広く効果的に行えるようにするために、外部とのリンクを充実することとし、その予算を計上する。
- ④ ボリビア情報の提供体制の整備充実、
- JETRO, JICA, 在ボリビア日本大使館、駐日ボリビア大使館などと連携して、ボリビアに興味・関心を持つ日本人一般層へのボリビア文化・産品・

観光、査証、感染症関係の情報を提供するとともに、日本の地方・中小企業向のボリビア関係ビジネス情報の提供を進め、ボリビアへの進出促進を図る。

- ⑤ 在日ボリビアコミュニティ間の交流促進への協力
在日ボリビア人・日系ボリビア人、ボリビア移住帰国者の集住地域と連携し、各コミュニティの文化・スポーツイベントにも積極的に参加して交流を深めるとともに、各コミュニティ間の相互間の交流促進にも協力する。この関連で、毎年恒例となった在日ボリビア人有志による **Bolivia Festival 2018** と、Chagas 病の感染防止活動を行っている NPO 団体 MA I K E N による在日ボリビア人集住地への訪問集団検診にできる範囲で協力する。
- ⑥ ボリビアを含むラテンアメリカ関係組織・団体との連携協力
ラテンアメリカ関係諸団体の主催するセミナー・イベントへ積極的に参加して、ボリビア関係情報の提供を行うと共に、先方からのボリビアを含むラテンアメリカ関係情報を収集し、会員やボリビア関係者に提供する。
- ⑦ 在ボリビア日系人社会と、在日ボリビア人社会との間の交流の促進支援
- ⑧ 日本マスコミ・メディアのボリビア関係取材への協力
ボリビア関係情報の提供を通じて、ボリビアについての PR を働きかけ、日本におけるボリビアの文化・社会・経済への認識の向上を図る。
- ⑨ 個別案件への協力支援
*ラテンアメリカ文化交流協会、D I F A R などボリビア関係団体との連携を継続
*コチャバンバ身障者孤児救済施設・聖マルティンの家の日本での募金活動への PR 協力を継続する。

以上

一般社団法人 日本ポリビア協会
平成29年度収支計算書(損益計算ベース) 予算(案)
期間:平成30年4月1日～平成31年3月31日

(単位:円)

科 目	平成29年度予 算額	平成29年度 実績	平成30年度 予算額
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
資産運用益	500	23	50
預金受取利息	500	23	50
受取年会費	800,000	755,000	730,000
個人会費	200,000	255,000	230,000
法人会費	600,000	500,000	500,000
雑収入	0	0	0
交流参加費	200,000	163,500	330,000
経常収益計	1,000,500	918,523	1,060,050
(2) 経常費用			
事業費	1,080,000	794,478	890,000
旅費交通費	80,000	74,040	
通信運搬費	50,000	24,512	
消耗品費	70,000	42,625	
ホームページ維持管理費	100,000	27,108	100,000
支払負担金	70,000	65,000	70,000
交流会議費	600,000	384,029	570,000
カントウタ等発行費	100,000	167,802	150,000
雑費	10,000	9,362	0
管理費	150,000	123,729	220,000
通信運搬費	50,000	16,269	40,000
交通費	50,000	0	80,000
消耗品費(事務管理費)	40,000	28,100	80,000
雑費	10,000	79,360	20,000
経常費用	1,230,000	918,207	1,110,000
当期経常増減額	-229,500	316	-49,950
2. 経常外増減の部			
当期一般正味財産増減額	-229,500	316	-49,950
一般正味財産期首残高	2,511,208	2,511,208	2,511,524
一般正味財産期末残高	2,281,708	2,511,524	2,461,574
II 正味財産期末残高		2,511,524	

	公益支出	公益収入	残高
平成26年3月31日末繰越金の“公的目的活動”による消費期間予測			2,480,870
平成26年公益活動金額と繰越金(1)	656,232	182,000	2,006,638
平成27年公益活動金額と繰越金(2)	944,134	208,500	1,271,004
平成28年公益活動金額と繰越金(3)	1,315,934	285,000	240,070
平成29年公益活動金額(最終年度)	794,478	163,500	▲390,908

平成30年度(2018)定期総会 役員改選 (案)

	現 任	異 動	後 任	
理事会長	白川光徳	退任	椿 秀洋	理事会長・新任
理事副会長	今村忠雄		今村忠雄	理事副会長・重任
理事副会長	大貫良夫	重任・理事へ	森下鉄夫	理事副会長・新任
専務理事	杉浦 篤		杉浦 篤	専務理事・重任
常務理事	長嶺為泰		長嶺為泰	常務理事・重任
常務理事	細萱恵子		細萱恵子	常務理事・重任
常務理事	椿 秀洋	重任・会長へ	永井和夫	常務理事・新任 監事より異動
理事	森下鉄夫	重任・副会長へ	大貫良夫	理事副会長より異動
理事	細野 豊		細野 豊	理事・重任
理事	嘉手苺義男		嘉手苺義男	理事・重任
理事	稲葉 誠		稲葉 誠	理事・重任
理事	国本伊代	退任	黒澤 啓	理事・新任
理事	遅野井茂雄	退任	田中純一	理事・新任
監事	千坂平通		千坂平通	監事・重任
監事	永井和夫	常務理事へ	小林正博	監事・新任

平成 29 年度会員入退会状況報告

(平成 29 年 4 月 1 日—平成 30 年 3 月 31 日)

前年度末 (平成 29 年 3 月 31 日)

個人会員 81 名 維持 (法人) 会員 8 名 合計 89 名

当期入会 個人会員 13 名 注① 維持 (法人) 会員 0 名 合計 13 名

当期退会 個人会員 8 名 注② 維持 (法人) 会員 0 名 合計 8 名

純増 5 名 純減 0 名 純増 5 名

当年度末 (平成 30 年 3 月 31 日)

個人会員 86 名 維持 (法人) 会員 8 名 合計 94 名

注① 川上裕二、木下雅司、加地マラヤ、加地武志、森伸一、屋良朝信
井出昭善、田中一雪*、花村春江、奥井雅一、田中朝海 岩永有美子
井上ノエミ* (*は復活)

注② 池上正則、井上ノエミ、金田正敏 田中一雪、牧野翔、森内耕二
ルイスカルロス・セヴェリッチ、国本伊代

以上